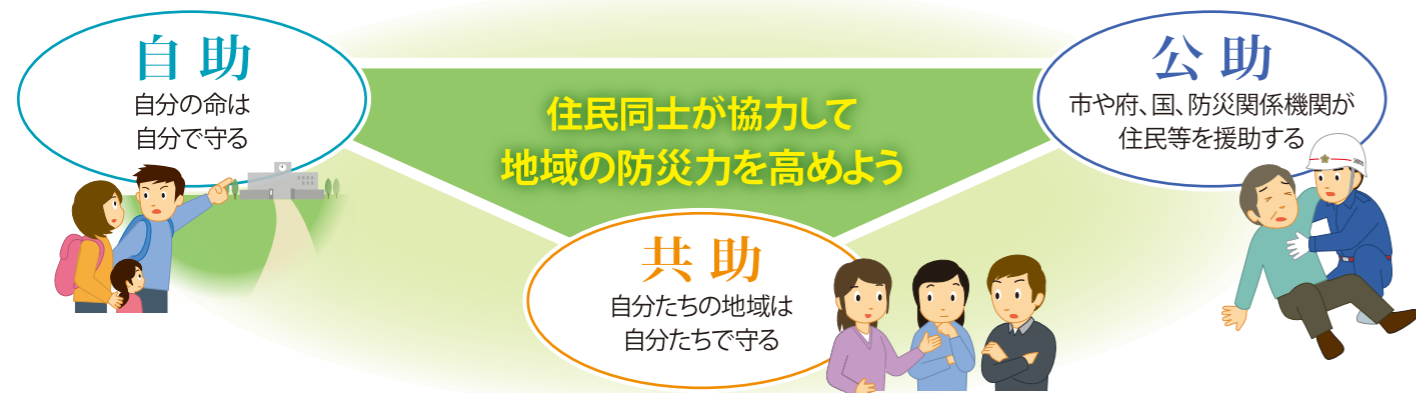


地域ぐるみで取り組む防災・減災

災害発生時には、亀岡市をはじめ、警察・消防などの防災関係機関が全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。



避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。避難所は万全でないため、自主的に食料品や日用品を持参して避難所に向かいましょう。

状況により、すばやく避難しましょう!
市から情報が来る前でも、雨の状況などから判断し、避難しましょう。

避難先を事前に家族と話し合っておきましょう!
「どこどこへ避難する」といった内容を事前に家族と話し合い、表紙の防災メモに記載しましょう。

住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!
特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。

集団で助け合おう!
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

車での避難は控えて!
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

安全なルートで!
川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

災害時の情報伝達方法

避難勧告、避難指示は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



状況に応じて早めの避難を

雨に注意しましょう
土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20mm以上、または降り始めから100mm以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

テレビ、ラジオ、スマホ、アプリ、SNSから情報収集
気象予報などさまざまな情報に気を配り、近所の方たちとも連絡をとりあひましょう。避難の準備も忘れずに行ってください。

避難勧告などには速やかに従いましょう
市から避難勧告などの避難情報が発令されたら、速やかに従いましょう。

声のかけ合いと助け合い
子どもや高齢者の避難には誰かの手助けが必要です。常に声をかけ合い、助け合う地域の輪、人の和で、みんなの安全を守りましょう。

避難情報の発令

避難情報等(亀岡市が発令)	警戒レベル	防災気象情報(気象庁が発表)	とるべき行動
災害発生情報	警戒レベル 5	大雨特別警報	すでに災害が発生している状況です。この段階では安全な避難が難しい場合があります。空振りをおそれずに、レベル3・レベル4の段階で安全に避難を終えましょう。
避難指示(緊急) 避難勧告	警戒レベル 4	土砂災害警戒情報	いますぐ安全な場所へ全員避難。 速やかに指定避難所に避難しましょう。指定避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル 3	大雨警報	高齢者や要介護者等は避難。 高齢者、障がいのある方等、避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始しましょう。その他の方は、避難の準備を整えましょう。
	警戒レベル 2	洪水注意報・大雨注意報等	ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。災害の危険性のある区域、避難場所、避難経路、避難のタイミングを確認してください。
	警戒レベル 1	早期注意報	最新の防災気象情報などを確認しましょう。災害への心構えを高めてください。

大雨や洪水に関する注意報・警報

下記のような場合、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。さらに、警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」が発表され、最大限の警戒を呼び掛けます。

※「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警報」よりもはるかに高い危険度
大雨 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表。
洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。